市民協働提案事業　審査表

提案団体名	狛江市平和祈念事業実行委員会
提案事業名	東京オリンピック・パラリンピックを活用した取組みについて

①**公益性**：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

１．大変寄与する（４点）　２．寄与する（３点）　３．どちらともいえない（２点）　４．あまり寄与しない（１点）　５．全く寄与しない（０点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■世界の中の一員という意識を持つために必要と考える。 ■外国人と積極的に触れ合うことができるような意識や機運を醸成することがレガシーにつながる。	4	3	3	3

②**協働性**：団体・市ともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

１．大変期待できる（４点）　２．期待できる（３点）　３．どちらともいえない（２点）　４．あまり期待できない（１点）　５．全く期待できない（０点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■団体がリードするのはよいと思うが、一般からも知恵を募集する必要もあるだろう。 ■イベントを企画し実現に向けては、団体と行政がタックを組むことで成功へとつながる。	4	2	4	3

③**具体性**：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

１．大変適正である（４点）　２．適正である（３点）　３．どちらともいえない（２点）　４．あまり適正でない（１点）　５．全く適正でない（０点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■具体的なイベント等をどんどん企画していただきたい。 ■あまり幅を広げずできることから。 ■内容に具体性があまり見られないが、多くの項目が市政に関連しているので、市との協働が必要。	3	2	2	3

④**実現性**：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

１．大変実現性がある（４点）　２．実現性がある（３点）　３．どちらともいえない（２点）　４．あまり実現性がない（１点）　５．全く実現性がない（０点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■実際に実行する場合の予算組みが妥当か不明。 ■多くの可能性を秘めた提案であるので、市との協働の仕方によっては大きな実現性を有すると考える。	3	2	3	3

⑤**実施能力**：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

１．大いに持つ（４点）　２．持つ（３点）　３．どちらともいえない（２点）　４．あまり持たない（１点）　５．全く持たない（０点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■市内の他の団体と協力するとよいと思う。 ■過去において実績があると見受けられるので、問題無しと考える。	3	3	4	3

評価点計（20点満点／個人）	17点	12点	16点	15点

【審査結果】
本事業については、その趣旨・目的に鑑み実施することが望ましい。
なお、事業実施にあたっては、団体と市で十分に連携し実施されたい。

評価点合計（80点満点／全体）	60点

市民協働提案事業　審査表

提案団体名	調布交通安全協会狛江連合支部
提案事業名	子どもとその保護者及び高齢者における交通事故ゼロを目指すため、交通事故事例集などの小冊子作成

①**公益性**：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

1．大変寄与する（4点）　2．寄与する（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり寄与しない（1点）　5．全く寄与しない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■狛江市内の危険箇所を周知し被害者にも加害者にもならないより安全なまちを目指す。 ■交通安全自体が重要な課題であるので、公益性大。	4	4	4	3

②**協働性**：団体・市ともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

1．大変期待できる（4点）　2．期待できる（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり期待できない（1点）　5．全く期待できない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■行政と団体の協力体制が大きな役割をはたす。 ■教育、マナー、駐輪、飲酒など市との協働が必要な課題が含まれている。	4	3	4	4

③**具体性**：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

1．大変適正である（4点）　2．適正である（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり適正でない（1点）　5．全く適正でない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■地図に危険箇所を写真で示し、わかりやすくするなど工夫があるとよい。 ■冊子がメインであるが、冊子の構想が完全とは言えない。	4	3	4	3

④**実現性**：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

1．大変実現性がある（4点）　2．実現性がある（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり実現性がない（1点）　5．全く実現性がない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■長年見てきた実績を大いに発揮してよりよい冊子づくりになると思う。 ■冊子の作成だけで安全が確保できるか、一考が必要。	4	3	4	3

⑤**実施能力**：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

1．大いに持つ（4点）　2．持つ（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり持たない（1点）　5．全く持たない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■事例を特集することなど考えており、無理なくわかりやすい冊子ができそう。 ■専門家の協力を得ることもあり、提案団体の熱意が感じられた。	4	3	4	4

評価点計（20点満点／個人）	A	B	C	D
	20点	16点	20点	17点

【審査結果】
本事業については、その趣旨・目的に鑑み実施することが望ましい。
なお、事業実施にあたっては、団体と市で十分に連携し実施されたい。

評価点合計（80点満点／全体）　73点

市民協働提案事業　審査表

提案団体名	comaecolor
提案事業名	川の家プロジェクト

①**公益性**：提案事業は、地域社会の発展又は地域課題の解決に寄与するものであるか。

1．大変寄与する（4点）　2．寄与する（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり寄与しない（1点）　5．全く寄与しない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■必ずしも地域課題の解決とはならないが、話題性はある。単なるお祭りイベントにならないようにする必要がある。 ■地域振興につながる要素が薄いように思えるので、狛江市の活性化につながること、内輪や地域に偏らないことが重要。	3	3	3	4

②**協働性**：団体・市ともに協働事業に前向きであり、協働による効果が期待できるか。

1．大変期待できる（4点）　2．期待できる（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり期待できない（1点）　5．全く期待できない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■協働の部分で相互の交わりが薄いように思える。 ■公的許認可が必要なものも多く、市全体に関わるテーマである。	3	2	2	3

③**具体性**：事業内容や実施方法に具体性があり、市と団体の役割分担が適正か。

1．大変適正である（4点）　2．適正である（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり適正でない（1点）　5．全く適正でない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■地域振興や駅前の賑わいを考えるのであれば、もう少し市内の商店との関わりの部分を知りたい。 ■未知数も多いが、狛江市のイメージアップには有効と考える。	2	3	2	3

④**実現性**：事業計画と収支予算は整合しており、事業に実現性があるか。

1．大変実現性がある（4点）　2．実現性がある（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり実現性がない（1点）　5．全く実現性がない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■インフラ整備以外は、若いパワーと着眼で実現性は大きい。 ■方向性は妥当だが、イベントを強調すると近隣住民への配慮等に問題が生じてくる。	2	4	1	1

⑤**実施能力**：提案団体は、提案事業を実施する能力を持つか。

1．大いに持つ（4点）　2．持つ（3点）　3．どちらともいえない（2点）　4．あまり持たない（1点）　5．全く持たない（0点）	A	B	C	D
	《点数》			
＜特記事項＞ ■ソフト面は固まっているので今年のプレオープンは可能であると思う。次年度以降は協働性をクリアする必要がある。 ■志はよいが、社会経験が不足しているように感じた。今後の発展に強く期待したい。	4	3	3	2

評価点計（20点満点／個人）	A	B	C	D
	14点	15点	11点	13点

【審査結果】
本事業については、提案の趣旨には賛同するが、市との協働性や地域振興への寄与等において、市民協働提案事業として多くの解消すべき課題がある。
事業実施にあたっては市と十分協議のうえ、検討していただきたい。

評価点合計（80点満点／全体）	53点

市民協働提案事業　審査表

★特記事項

【東京オリパラ】
■狛江において、東京オリパラやラグビーW杯で外国人を「もてなす」には、外国人に対する緊張や抵抗感を取り除く方策が必要である。そのために、外国人と触れ合う機会、交流する機会を作ることが必要である。
■子どもを巻き込んだ交流もよい。小さいころから外国人に対する抵抗感を持たせないこともレガシーにつながるのではないか。
■市内の他団体と協力して事業を進めていくとよい。

【交通安全】
■被害者だけでなく、加害者にならないような啓発にもつながる冊子となるとよい。
■リアルに伝えることが重要なので、危険箇所、実際の事故発生箇所を記載する。
■自転車に対する通行マップを作成することも有効。（安全な道、危険な道、実際の事故現場等）

【川の家】
■市の魅力発信としてコンセプトはよい。
■仲間内だけでなく、賛同、協力する団体や店舗を募りながら、広く巻き込んでの実施をしてもらいたい。
■支出に草取りが含まれているが、市民ボランティアに手伝ってもらう等、市民を巻き込んで実施できる部分がある。
■安全面に十分配慮すること。

★指摘すること・注意点・課題等

【東京オリパラ】
■具体性に乏しいので、今後協働する中で具体化していく必要がある。

【交通安全】
■配布するだけでなく、説明しながら配ったり、講習イベントを開催する等の工夫も必要。
■市民が活動するエリアを考えると、市内だけでなく近隣エリアも含まれてくる。

【川の家】
■毎週イベントを行うことについて、近隣住民の理解を得るのは難しい。
■市との協働部分が周知広報、ハード面整備、近隣住民との調整などのみとなっており、市民協働事業制度本来の趣旨と変わってきてしまう。
■イベントだけに終わらない取組みが必要。